

# ベンチャー企業一堂に

広島市に県誘致

## 営業・研究の拠点

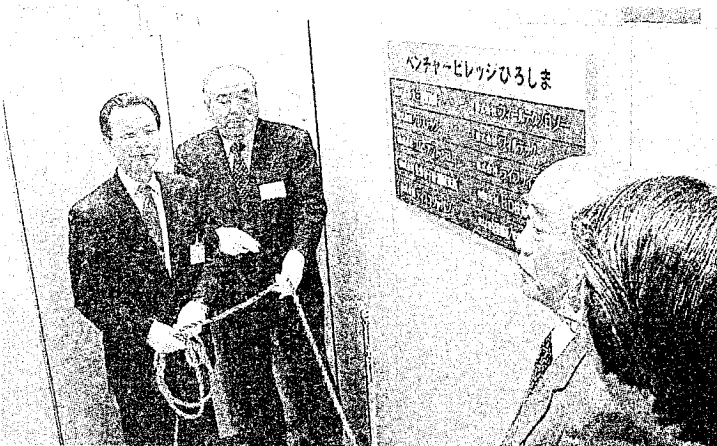
広島県外のベンチャー企業を集めた「ベンチャービレッジひろしま」が九日、広島市中区にオープンした。成長が見込まれる分野を対象に、県がベンチャー企業を県外から誘致した全国でも珍しい試み。島根、東京、福岡など六都県から、IT(情報技術)やナノテク(ナノテクノロジー)などに挑む九社が事務局を構えた。

施設は中区本川町のオフィスビル六階の一部、二百九十平方メートルを改装した。企業の個室八部屋と会議室、商談コーナーを設けている。

同日あった開所式には入居企業をはじめ関係者約五十人が出席。広島県の船本聡武立地政策審議官は「広島での第一歩を

しっかりサポートしたい」とあいさつ。入居者を代表して、半導体関連技術開発のフィルテック(東京)の古村雄二社長は「夢を持ったベンチャーが集まった。入居企業

が相乗効果を発揮して成長していきたい」と抱負を述べた。入居期間は原則三年。退出企業があり次第、追加募集する。



ベンチャービレッジひろしまの入居企業

分野	企業名(本社所在地)	事業分野
情報	大三測量設計(愛媛)	未登記地の自動測量
	コム・アンド・コム(福岡)	危機報知、安否確認
	ティスコジャパン(福岡)	携帯電話の通訳
	ヒロ技術研究所(兵庫)	船用ディーゼルの最適運行
先端的製造	フィールテクノロジー(大田市)	非凍結の氷点下保存
	フィルテック(東京)	半導体用超微細加工
	ライフサイエンス(東京)	実用型超臨界用装置
ナノテク	クレステック(東京)	超微細加工
バイオ	生体分子計測研究所(茨城)	生体分子可視化計測装置

一室に二社が入るケースもあり、携帯電話の通訳サービスや、冷凍せずに食品を氷点下保存するシステム、超微細加工に関連する製品提供などを手掛ける九社が、研究や営業の拠点とする。

広島県にないビジネスモデルを育てるため、県がホームページや広報紙で公募し、専門家による審査を経て誘致企業を決めた。家賃は県が全額負担、共通秘書二人も県が委託し、電話応対などを請け負う。希望に応じて地元企業や大学、研究機

入居企業の社名プレートを除幕する関係者